

第 十 九 號 半 吉

満ち満ちることを喜ぶ人ごころ久くるといへることを思ひて

此御論しの神歌は、満ち満ちることを喜ぶは、世の人の情なれども、物事満れば久くると云ふことあれば、如何なる吉事ありとても、萬の事に心を配り、身の分限を守り慎めをなり。

○喜悦有べし ○待人来 ○失物出べし ○賣買利あり ○疾病可快 ○方角坤

○家づくり、わたまし、婚礼、旅行是皆用ひてよし

⑤ 王子新稲荷 11-5-61